

令和元年度第2回「教員等の出退勤時刻実態調査結果（速報値）」について【概要】



令和2年1月29日
千葉県教育庁教育振興部教職員課
電話 043-223-4036

令和元年11月に実施した、公立学校の教員等を対象とした出退勤時刻実態調査結果（速報値）がまとまりました。

この調査は、学校における業務改善の推進に向けて、基礎的データを得ることを目的として実施したものです。

1 調査方法等

(1) 調査対象

校長、副校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、実習助手、講師
（※フルタイム勤務職員全員）

(2) 調査期間

1回目 令和元年 6月1日（土）から 6月30日（日）までの1か月間

2回目 同 11月1日（金）から11月30日（土）までの1か月間

※今回の調査結果は2回目の調査の速報値となります。

(3) 調査対象校

県内の公立小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校
（千葉市立の学校及び市立高等学校を除く）

(4) 調査方法

①市町村立学校

各市町村教育委員会が管下の教職員の実態をそれぞれの方法で把握し、平日及び土日における各出退勤時刻の平均、当該月の正規の勤務時間を80時間を超える者の人数を取りまとめ、各教育事務所を通して県教育委員会に報告する。

②県立学校

県立の中学校、高等学校及び特別支援学校においては、一人一台PCによる出退勤管理システムを活用して出退勤時刻を記録し、対象職員の当該月の平日及び土日における正規の勤務時間を超えた在校時間、当該月の正規の勤務時間を80時間を超える者の人数を管理職が取りまとめて県教育委員会に報告する。

2 調査結果の概要

○教諭等※における月当たりの正規の勤務時間を80時間を超える者の割合

※教諭等とは主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、実習助手及び講師をいう。

職種（調査時期）	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校
教諭等(R元.11月)	8.1%	29.5%	32.8%	16.5%	0.03%
〃 (R元.6月)	12.1%	37.9%	33.3%	20.6%	0.1%
〃 (H30.11月)	11.5%	30.5%	36.9%	25.9%	1.4%
〃 (H30.6月)	13.2%	36.4%	35.4%	30.2%	1.4%

(R元.11月の特別支援学校の値のみ小数第2位まで算出)

令和元年度第2回「教員等の出退勤時刻実態調査結果（速報値）」【データ編】

1 調査方法等

(1) 調査対象教職員

校長、副校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、実習助手、講師
(※フルタイム勤務職員全員)

(2) 調査期間

【1回目】令和元年 6月1日（土）から 6月30日（日）までの1か月間

【2回目】令和元年11月1日（金）から11月30日（土）までの1か月間

※今回の調査結果は2回目の調査の速報値となります。

(3) 調査対象校

県内の公立小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校
(千葉県立の学校及び市立高等学校を除く)

(4) 調査の実施方法

①市町村立学校

市町村立の小学校、中学校、義務教育学校及び市立特別支援学校においては、各市町村教育委員会が管下の教職員の実態をそれぞれの方法で把握し、平日及び土日における各出退勤時刻の平均、当該月の正規の勤務時間を80時間を超える者の人数を取りまとめ、各教育事務所を通して県教育委員会に報告する。

②県立学校

県立の中学校、高等学校及び特別支援学校においては、一人一台PCによる出退勤管理システムを活用して出退勤時刻を記録し、対象職員の当該月の平日及び土日における正規の勤務時間を超えた在校時間、当該月の正規の勤務時間を80時間を超える者の人数を管理職が取りまとめて県教育委員会に報告する。

2 調査結果について

(1) 全校種（市町村立学校、県立学校）

①月当たりの正規の勤務時間を80時間を超える者の割合

職種（調査時期）	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校
教諭等（R元.11月）	8.1%	29.5%	32.8%	16.5%	0.03%
〃（R元.6月）	12.1%	37.9%	33.3%	20.6%	0.1%
〃（H30.11月）	11.5%	30.5%	36.9%	25.9%	1.4%
〃（H30.6月）	13.2%	36.4%	35.4%	30.2%	1.4%

※「教諭等」：主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、実習助手及び講師

※R元.11月の特別支援学校の値のみ小数第2位まで算出

②教諭等における全校種の平均 14.4%

〔 参考：R元年6月の平均 19.1%、 H30年11月の平均 18.4%
H30年6月の平均 21.4% 〕

月当たりの正規の勤務時間を80時間を超える教諭等の割合は、全ての校種において6月の第1回調査と比較して減少した。また、前年度11月の調査と比較しても全ての校種において減少していることから、各学校現場で進める業務改善と意識改革が一定の効果を生み、改善につながったと思われる。

しかしながら、義務教育学校では3割強、中学校では約3割の教諭等が正規の勤務時間を80時間を超えていることから、これまで以上に、学校における働き方改革を促進していく必要がある。

(2) 市町村立学校（小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校）

①月当たりの正規の勤務時間を80時間超える者の割合

職種（調査時期）	小学校	中学校	義務教育学校	特別支援学校
校長（R元.11月）	0.9%	1.9%	0%	0%
〃（R元.6月）	2.0%	4.4%	0%	0%
〃（H30.11月）	2.2%	2.5%	0%	0%
〃（H30.6月）	4.2%	5.9%	0%	0%
副校長・教頭（R元.11月）	27.3%	31.7%	50.0%	20.0%
〃（R元.6月）	38.9%	56.9%	50.0%	0%
〃（H30.11月）	36.2%	42.7%	50.0%	0%
〃（H30.6月）	44.4%	58.7%	83.3%	0%
教諭等（R元.11月）	8.1%	29.5%	32.9%	0%
〃（R元.6月）	12.1%	38.0%	33.3%	0%
〃（H30.11月）	11.5%	30.5%	36.9%	0%
〃（H30.6月）	13.2%	36.4%	35.4%	0%

②平日における1日当たりの正規の勤務時間を超えた在校時間

職種（調査時期）	小学校	中学校	義務教育学校	特別支援学校
校長（R元.11月）	1時間10分	0時間48分	0時間49分	1時間40分
〃（R元.6月）	2時間6分	1時間55分	2時間15分	2時間13分
〃（H30.11月）	1時間53分	1時間43分	1時間25分	1時間26分
〃（H30.6月）	2時間16分	2時間25分	1時間41分	1時間27分
副校長・教頭（R元.11月）	2時間34分	2時間25分	2時間2分	3時間9分
〃（R元.6月）	3時間48分	3時間54分	3時間34分	3時間47分
〃（H30.11月）	3時間32分	3時間27分	3時間4分	3時間1分
〃（H30.6月）	3時間57分	4時間8分	4時間33分	2時間56分
教諭等（R元.11月）	1時間42分	1時間54分	1時間45分	1時間9分
〃（R元.6月）	2時間43分	3時間6分	3時間1分	2時間5分
〃（H30.11月）	2時間36分	2時間39分	2時間25分	1時間31分
〃（H30.6月）	2時間56分	3時間24分	3時間3分	1時間27分

※平日1日当たりの在校時間を8時間30分（勤務時間7時間45分、休憩時間45分）として算出

③平日の1日当たりの在校時間

職種（調査時期）	小学校	中学校	義務教育学校	特別支援学校
校長（R元.11月）	9時間40分	9時間18分	9時間19分	10時間10分
〃（R元.6月）	10時間36分	10時間25分	10時間45分	10時間43分
〃（H30.11月）	10時間23分	10時間13分	9時間55分	9時間56分
〃（H30.6月）	10時間46分	10時間55分	10時間11分	9時間57分
副校長・教頭（R元.11月）	11時間4分	10時間55分	10時間32分	11時間39分
〃（R元.6月）	12時間18分	12時間24分	12時間4分	12時間17分
〃（H30.11月）	12時間2分	11時間57分	11時間34分	11時間31分
〃（H30.6月）	12時間27分	12時間38分	13時間3分	11時間26分
教諭等（R元.11月）	10時間12分	10時間24分	10時間15分	9時間39分
〃（R元.6月）	11時間13分	11時間36分	11時間31分	10時間35分
〃（H30.11月）	11時間6分	11時間9分	10時間55分	10時間1分
〃（H30.6月）	11時間26分	11時間54分	11時間33分	9時間57分

④土・日曜日の1日当たりの在校時間

職種（調査時期）	小学校	中学校	義務教育学校	特別支援学校
校長（R元.11月）	0時間16分	0時間23分	0時間53分	0時間 0分
〃（R元.6月）	0時間31分	0時間35分	0時間29分	0時間 0分
〃（H30.11月）	0時間30分	0時間41分	0時間 7分	0時間 0分
〃（H30.6月）	1時間16分	1時間20分	3時間30分	0時間 0分
副校長・教頭（R元.11月）	0時間56分	1時間34分	3時間 4分	0時間 0分
〃（R元.6月）	1時間17分	1時間58分	1時間57分	0時間18分
〃（H30.11月）	1時間37分	2時間 6分	1時間22分	0時間 0分
〃（H30.6月）	2時間35分	3時間18分	5時間12分	0時間30分
教諭等（R元.11月）	0時間26分	2時間 3分	0時間46分	0時間 0分
〃（R元.6月）	0時間35分	2時間17分	0時間44分	0時間 2分
〃（H30.11月）	0時間45分	2時間49分	1時間22分	0時間 0分
〃（H30.6月）	1時間51分	4時間11分	5時間31分	0時間 0分

市町村立の小学校及び中学校においては、月当たりの正規の勤務時間を80時間を超える者の割合が、管理職員、教諭等とともに、前回の6月調査と比較して大幅に減少した。また、前年度11月と比較しても減少している。特に副校長・教頭においては、小学校で11.6ポイント減（前年度同期8.9ポイント減）、中学校で25.2ポイント減（昨年度同期11.0ポイント減）と、大きな改善が見られた。副校長・教頭の数値が上昇している市立特別支援学校は対象者数が少ないため、一時的に生じた校務の偏りの影響が大きく表れた。

平日における1日当たりの正規の勤務時間を超えた在校時間についても、全ての職種で減少した。教諭等においては前回の6月調査と比較して、小学校で1時間1分減（昨年度同期0時間54分減）、中学校で1時間12分減（昨年度同期0時間45分減）、義務教育学校で1時間16分減（昨年度同期0時間40分減）、市立特別支援学校で0時間56分減（昨年度同期0時間22分減）だった。

市町村立の小学校及び中学校における土・日曜日の1日当たりの在校時間は、全ての職種で減少したが、義務教育学校は全職種で増加した。特に義務教育学校の副校長・教頭の在校時間が前回の6月調査と比較して約1時間増えたが、校舎の建て替え工事に伴う対応等を要因とする在校時間の増加が、対象者数が少ないことから大きく数値に反映されたと考えられる。

(3) 県立学校（中学校、高等学校、特別支援学校）

①月当たりの正規の勤務時間を80時間を超える者の割合

※H30. 6月の校長、副校長・教頭のデータなし

※中学校の校長は、中高一貫校につき該当者なし

※R元. 11月の特別支援学校の値のみ小数第2位まで算出

職種（調査時期）	中学校	高等学校	特別支援学校
校長（R元.11月）	—	0%	0%
〃（R元.6月）	—	0.8%	2.8%
〃（H30.11月）	—	0%	2.8%
〃（H30.6月）	—	—	—
副校長・教頭（R元.11月）	0%	5.3%	11.1%
〃（R元.6月）	50.0%	13.2%	20.3%
〃（H30.11月）	0%	25.4%	50.8%
〃（H30.6月）	—	—	—
教諭等（R元.11月）	32.4%	16.5%	0.03%
〃（R元.6月）	23.5%	20.6%	0.1%
〃（H30.11月）	35.3%	25.9%	1.5%
〃（H30.6月）	29.4%	30.2%	1.5%

県立学校全体（教諭等）の平均 **11.3%**
 （参考： R元. 6月の平均 14.0%
 H30. 11月の平均 18.3%
 H30. 6月の平均 21.3%）

②平日における1日当たりの正規の勤務時間を超えた在校時間

職種（調査時期）	中学校	高等学校	特別支援学校
教諭等（R元.11月）	2時間 8分	1時間 35分	1時間 27分
〃（R元.6月）	2時間 27分	1時間 48分	1時間 36分

※H30年度は、平日と土日を区別して調査していなかったため、記録なし。

③平日の1日当たりの在校時間

職種（調査時期）	中学校	高等学校	特別支援学校
教諭等（R元.11月）	10時間 38分	10時間 5分	9時間 57分
〃（R元.6月）	10時間 57分	10時間 18分	10時間 6分

※平日1日当たりの在校時間を8時間30分（勤務時間7時間45分、休憩時間45分）として算出

※H30年度は、平日と土日を区別して調査していなかったため、記録なし。

④土・日曜日の1日当たりの在校時間（振替休日含む）

職種（調査時期）	中学校	高等学校	特別支援学校
教諭等（R元.11月）	1時間 39分	1時間 42分	0時間 1分
〃（R元.6月）	1時間 27分	1時間 50分	0時間 1分

※H30年度は、平日と土日を区別して調査していなかったため、記録なし。

⑤正規の勤務時間を超えた月当たりの在校時間

※H30. 6月の校長、副校長・教頭のデータなし

※中学校の校長は、中高一貫校につき該当者なし

職種（調査時期）	中学校	高等学校 （全日制）	高等学校 （通信制・定時制）	特別支援学校
校長（R元.11月）	—	20時間23分	16時間30分	32時間51分
〃（R元.6月）	—	20時間 6分	16時間31分	32時間42分
〃（H30.11月）	—	18時間27分	22時間45分	33時間32分
〃（H30.6月）	—	—	—	—
副校長・教頭（R元.11月）	58時間10分	62時間17分	44時間32分	72時間12分
〃（R元.6月）	55時間42分	68時間22分	45時間29分	73時間28分
〃（H30.11月）	50時間52分	69時間26分	47時間56分	85時間53分
〃（H30.6月）	—	—	—	—
教諭等（R元.11月）	59時間33分	51時間 3分	14時間31分	29時間13分
〃（R元.6月）	63時間38分	56時間49分	15時間23分	32時間 4分
〃（H30.11月）	63時間50分	57時間45分	15時間29分	34時間13分
〃（H30.6月）	60時間52分	63時間34分	18時間55分	37時間 1分

県立学校の月当たりの正規の勤務時間を80時間を超える者の割合は、中学校の教諭等を除く全ての校種・職種で減少した。県立中学校の教諭等は前回の6月調査と比較して8.9ポイント増加（昨年度同期2.9ポイント減）しているが、3年生が引退した部活動をきめ細かく指導したり、授業の準備がやむを得ず勤務時間外にかかってしまったりしたケースが増えたことが要因と思われる。

平日における1日当たりの在校時間については、全ての校種の教諭等において減少が見られ、学校内での業務改善及び意識改革が進んでいることが伺える。

県立学校の正規の勤務時間を超えた月当たりの在校時間は、前回の6月調査と比較して、高等学校（全日制）と特別支援学校の校長が増加した。また、県立中学校の副校長・教頭の在校時間が増加したが、研究授業に伴う指導案等の点検・指導等の一時的な業務の増加が要因と思われる。教諭等においては前回の6月調査と比較して、中学校で4時間5分減（昨年度同期4時間17分減）、高等学校（全日制）で5時間46分減（昨年度同期6時間42分減）、高等学校（定時制）で0時間52分減（昨年度同期0時間58分減）、特別支援学校で2時間51分（昨年度同期5時間00分減）だった。